

にぎわい

—日本海にぎわい・交流海道推進協議会通信—

今回、記事の提供箇所は「ここです」



『「海の日」記念 第4回海王丸フェスティバル』に「なごかぜ」も参加

夏休み初日の7月20日、海の日に、新湊市の海王丸パークにおいて、第4回海王丸フェスティバルが開催されました。

当事務所も、「なごかぜ」による富山新港の港内見学をとおして多くの方々に、大切な役割を果たしている港の重要性と海に対する関心と理解を深めてもらうために、「各種ボートに体験乗船」というイベントに協力という形で参加しました。

この日は朝からあいにくの雨模様でフェスティバルに訪れる人の出足も心配されましたが、一回目の運行が始まる11:30には完全に雨もあがり、夏の日差しが戻り、とても暑くなりました。



伏富港 監督測量船「なごかぜ」

このような暑い中、始まる前の心配もよそに、受付窓口では乗船を希望する人達がたくさん集まり、受付開始時間の30分も前から列ができ、一回の乗船定員が12名のため、列の途中で遠慮していただいたりしながら、予定していた5回の運行とも大盛況のうちに終了しました。



なごかぜの船上で体感する風は、陸上の暑さと比べてとても気持ちがよく、見学者の人達も「気持ちいい」「楽しい、おもしろい」と歓声を上げ、思い思いにカメラで家族や子供の写真を撮ったり、乗船時に配布されたオペラグラスで港内を眺めたりして、和気藹々を楽しんでおられました。

また、下船するときには口々に「ありがとう」とスタッフに声をかけられ大変喜んで頂けた様子でした。



この日はスタッフ一同汗だくになりながらも、来年もこのような機会があれば参加し、たくさんの方々に喜んでもらえるように、また、少しでも港のことを知っていただけるようPRしていきたいと思いました。

(伏木富山港湾工事事務所)

第14回 「海の祭典ふくい」開催

第14回「海の祭典ふくい」が、「きらり ひかる 海みらい」をテーマに7月20日（海の日）、福井県内各地で幕をあげました。

（7月20日～8月1日 主催：第14回「海の祭典」推進協議会）

「海の祭典」は、海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う国民の祝日「海の日」の主旨を定着させ、併せて若い世代への海に対する関心を喚起するため、運輸省の提唱により昭和61年から全国で開催されてきました。

日本海側での開催は、新潟（平成3年）についぎ2度目となりました。

初日の7月20日正午、敦賀・福井・鷹巣・和田・内浦の各港に停泊している船舶が一斉に汽笛を鳴らし祭典の開幕を告げました。

福井市内では、街頭パレードが行われたほか、期間を通して展示される「海の総合展」（併催：作文・図画・写真コンクール展）も始まりました。

7月22日には、秋篠宮・同妃殿下をお招きして、敦賀市民文化センターで記念式典が開かれました。

式典では、運輸大臣表彰が行われ、代表として港湾関係の仕事に永く尽力された曾根學さん（㈲曾根工業）に林幹雄・運輸政務次官から表彰状が手渡されました。さらに、第一港湾建設局長表彰では、港湾関連事業功労として朝日恵子（福井文化服装学院）、永年勤続功労として桶屋岩信さん（㈱関組）、田中修三さん（東洋建設㈱）他3名の方々が表彰され、橋間局長より代表者の朝日恵子さんに表彰状が手渡されました。



「海の祭典ふくい」は、8月1日まで敦賀港・福井港をメイン会場に船舶の一般公開、各種イベントが催されます。また、福井市内で開催されている「海の総合展」には、当事務所も”港の役割”や”暮らしと密接に関わる港”について再確認していただくことを目的としたパネルや”鳴り砂”などを展示しております。

今夏、同時開催されている「つるが・きらめきみなと博21」と合わせ、ふくいの港は、一層にぎやかさをましています。



(敦賀港湾工事事務所)

編集後記

会員の皆様方には、今回の「にぎわい通信」発行が大幅に遅れましたことをお詫び申し上げます。

どこの担当の時でも、どんな内容でもかまいませんので「にぎわい通信」への投稿を会員の皆様にお願いします。

積極的にこの紙面を利用し地域の紹介の場として利用願います。

編 集

日本海にぎわい・交流海道推進協議会事務局

第一港湾建設局 企画課内 TEL 025-265-7781
FAX 025-230-3680